

令和7年度 動作法集中研修会 報告

マネージャー：青柳 憲充

- 1 日時：令和8年1月10日（土）～11日（日）
- 2 場所：埼玉県立宮代特別支援学校
- 3 総合指導：三好 敏之 先生（尚絅学院大学教授）
- 4 メンバー構成
＜トレイニー（8名）＞ Rさん（22歳）、Aさん（13歳）、Kさん（18歳）、Jさん（45歳）、
Yさん（24歳）、Hさん（30歳）、Rさん（7歳）、Sさん（7歳）
＜班長・トレーナー・サブトレ＞ 班長：島村隆博、出井一紀、菅原恵、
トレーナー：石川弥生、遠藤優和、加門江梨、佐藤優介、塚越慶昌、角田拓幸、西原数馬、野原祥子
サブトレーナー：橋本穂乃佳、青柳憲充（兼マネージャー）



5 研修会のねらい

- （1）三好先生のインテークや指導を通じ、動作法の見方を深め新たな課題を発見する。
- （2）経験を問わず参加者全員が学び合い、保護者やトレイニーとの情報交換の場とする。

6 研修会の経過

＜1日目＞1日目は、三好先生による個別インテークが行われました。一人あたり約15分という限られた時間の中で、トレイニーの身体状況を的確に把握し、具体的な助言をいただきました。夕方には全体ミーティングが行われ、動作法の具体的な技法について実技を交えて研修を深めました。

＜2日目＞午前中のトレーナー研修では、前日の振り返りとともに動作法の技法をさらに追求しました。午後の「保護者研修2」では、三好先生のご経験をもとに心のケアに関する貴重な講話をいただきました。最後のセッションでは、各トレーナーから家庭で取り組める手技等を保護者に伝達しました。

7 研修を終えて

今回の研修会は、三好先生の温かなご指導のもと、参加者全員が「心と体のつながり」再確認する有意義な機会となりました。この成果を今後の月例会や日々の指導に活かしていきたいと考えます。

トレイニー・保護者の声（アンケートより抜粋）

- 「特性だと思っていた姿勢が、ほぐすことで改善し驚いた。帰りの車でも姿勢が良かった」
- 「三好先生の講話で、親自身の身体を労わる大切さを学び、気持ちが楽になった」
- 「震災のお話をもっと聞きたかった」と

トレーナーの声（アンケートより抜粋）

- 「三好先生がトレイニーの課題を瞬時に見極める姿が素晴らしく、非常に勉強になった」
- 「自分の身体を使って緩める大切さを実感し、それをトレイニーへの援助に活かすことができた」
- 「班別ミーティングで疑問をすぐに相談でき、次のセッションへの見通しが持てた」